■渡島の北海道遺産

北海道遺産とは

私たちの周りには、普段は気づかないけれど、本当は大きな価値を持つ宝物がたくさんあるのではないでしょうか。

豊かな自然はもちろん、北海道に生き、暮らしてきた人々の歴史や文化、生活、産業など、次の世代へ引き継ぎたい有形・無形の財産の中から、道民全体の宝物として、道民参加で選んだものが「北海道遺産」です。

掘り起こされた宝物を地域で守り、育て、活用していく中から新しい魅力を持った北海道を創っていきたい－それが「北海道遺産構想」の目標です。

平成13年10月の第１回選定で25件、平成16年10月の第２回選定で27件、平成30年11月の第3回選定で15件、そして令和４年10月に第４回選定分６件と名称変更１件が決定され、全道の北海道遺産は74件となりました。

このうち渡島総合振興局管内からは、７件の北海道遺産が誕生しています。

渡島の北海道遺産

福山（松前）城と寺町
＜松前町・第１回選定＞

内浦湾沿岸の縄文文化遺跡群
＜函館市など・第１回選定＞

しかべ間歇泉
＜鹿部町・第３回選定＞

函館山と砲台跡
＜函館市・第１回選定＞

五稜郭と箱館戦争の遺構
＜函館市など・第２回選定＞

北海道遺産
Hokkaido Heritage

路面電車
＜函館市など・第１回選定＞

函館西部地区の街並み
＜函館市・第２回選定＞

私たちは、

次の世代に何を遺せるのか

北海道の宝物、

そして未来への資産